



なぜ学ぶか、なんのために学ぶか

校長 岡部 一郎

新年度が始まり約1ヶ月が過ぎました。今年度のスタートは、春というよりも夏を思わせる日もあり、季節の移り変わりが早くなっているように思います。街中でもツツジの花が私たちを出迎えてくれ、朝の通勤途中で出会うと心が和みます。子どもたちも、季節の移り変わりとともに、新しいクラスや学年に慣れ、学校生活がさらに楽しくなってくる時期ではないでしょうか。

いよいよゴールデンウィークが始まります。この連休中に、予定されていることがあると思いますが、一人ひとり充実した休みを過ごしてもらえればと思っています。また、入学式・始業式からの生活リズムが、この休みによって変わることもあると思いますので、ご家庭でも早寝早起きなど、よい生活習慣をしっかりと維持できるようにしてください。

新型コロナウイルス感染症については、5月7日から第5類に移行することが国の方針で決まっていますが、対応については改めてお知らせいたします。4月20日には「なかよし活動」として、1年生と6年生が四ツ切公園に行ってきました。みんなとても満足した様子で学校に戻ってきました。今年度はこのような、ここ2、3年行えなかった活動にも状況を見ながら取り組んでいきたいと考えています。「なかよし活動」は他の学年でも実施する予定ですが、このように久しぶりに行う活動については、指導者がその目的や意義（端的に言いますと「なぜ？その活動を行うのか」）をしっかりと確認する必要があると考えています。コロナ対策が緩和される中、子どもたちの学びを充実させるために大切にすべきことと考えています。

さて、この「なぜ？」という問いかけですが、私たち教職員は、「なぜ？学ぶのか」「なんのために、学ぶのか」ということを考えながら、子どもたちと学校生活をともにする必要があります。ニュースの解説などで有名な方の著書に、次のようなことが書かれていました。興味をもつことが勉強の入り口であるが、「わからない」ことには、興味をもてないとのことでした。そして興味をもつためには、「わからない」から「興味をもつ」までの橋渡しをする必要があります、それが「解説」であるとのことでした。また、興味を覚えたら自分自身で学ぶようになってほしいとも述べられていました。

「なぜ？学ぶのか」「なんのために、学ぶのか」の答えを出すことは難しいかもしれませんが、「興味をもてることや好きなこと、得意なことなどを自ら学び続ける喜びや楽しさを知る」ことが、その答えにつながるのではないのでしょうか。そして、私たち教職員の役割は、学校生活の様々な場面で、子どもたちが「わからない」「理解できない」と感じていることを「興味をもつ」へと変えていくことだと思っています。その方法として、一人ひとりに応じた指導や子どもたち同士での学び合いがあり、これらを深めることが求められています。

5月を迎えます。これからも、子どもたちの学校生活がより一層充実するよう、日常生活にあるあたり前のことなどにも興味をもち、新鮮な気持ちで「学び」に臨めるようにしていきます。